

有害プランクトン情報 (平成27年度 - No. 2)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので、毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

【プランクトンの出現状況】

- 調査日 5月 第1回 : 内湾 (8地点) 5/7 内房 (7地点) 5/7
 5月 第2回 : 内湾 (8地点) 5/18 内房 (7地点) 5/20
- シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の有害プランクトンは、5月7日に内湾北部(船橋、羽田沖)の2地点で30～960細胞/mlの密度で確認されましたが、18・20日の調査ではすべての調査点で確認されませんでした。
しかし、本種は梅雨の時期に赤潮を形成することがあるので、今後も注意が必要です。
- 赤潮は、5月7日、18日にほぼ内湾全域で確認されました。それぞれの優占種は7日が渦鞭毛藻のプロロケトルムとケイ藻のレプトキリンドルスで、18日はケイ藻のスケルトネマでした。
- ※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml、ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

5/7	内湾北西部	渦鞭毛藻	<i>Prorocentrum minimum</i>	(図1)
			(プロロケトルム ミニマム)	
	内湾北東部 ～内房	ケイ藻	<i>Leptocylindrus danicus</i>	(図2)
			(レプトキリンドルス ダニクス)	
5/18,20	内湾	ケイ藻	<i>Skeletonema sp.</i>	(図3)
			(スケルトネマの一種)	
	内房	ケイ藻	<i>Skeletonema sp.</i>	(図3)
			(スケルトネマの一種)	



図 1

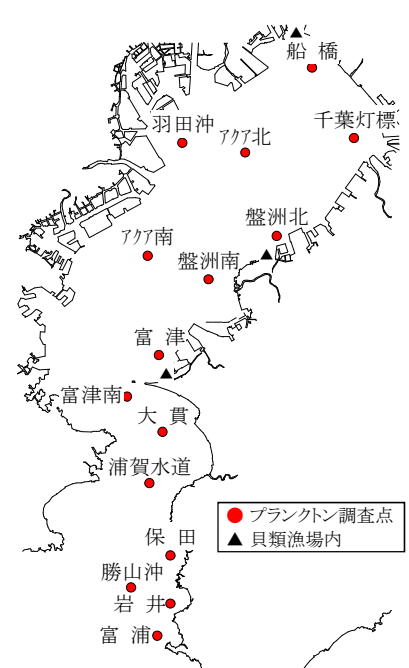


図 2



図 3

調査地点



【貝毒プランクトンの状況】

- 調査日 沖 合 : 内湾 (8地点) 5/7
 貝類漁場内: (九十九里海域:野栄 5/11)
- 麻痺性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp